

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム みなみ

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

上田 育代

評価完了日

平成 19 年 6 月 18 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 8月 18日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103698		
法人名	有限会社ラッセル社		
事業所名	グループホーム みなみ		
所在地	松山市津吉町 1 1 4 2 - 1 (電話) 089-963-0957		
管理者	上田 育代		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目 5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年7月2日	評価確定日	平成19年8月18日

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

玄関には生花が活けられ、メダカが飼われていた。庭先にはトマト等野菜も植えられていた。
 民家改修型の事業所であり、建物の雰囲気が利用者の以前住まわれていたお家に似ているということから、入居間もなく落ち着かれることが多い。
 居室でラジカセを聞かれたり、お風呂がお好きな方は、近くの温泉に出かけ楽しまれている。代表者のお家で飼われている犬とのふれあいを楽しみにされている方もおられる。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・前回の評価結果を受けて、定期的なミーティングの開催や、職員と利用者が一緒にできること(花を活ける、野菜を育てる等)を増やされていた。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・事業所では、項目を分けて全職員で自己評価に取り組みされており、管理者がまとめられた。自己評価で気付かれた職員個々の考え方の違いについて話し合われた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・運営推進会議時には、出席者にグループホームや認知症の説明をされている。区長さんより何かお手伝いできることがあれば言って下さい、と声をかけていただいた。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・月1回「みなみ通信」をご家族に向けて発行され、事業所の取組みをお伝えしておられる。ご本人の日々の様子等は来訪時にお話されている。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・隣近所とお付き合いをされている。公民館活動についての案内はいただいている。

【情報提供票より】

(平成19年6月21日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成15年11月11日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	9人	常勤	4人, 非常勤 5人, 常勤換算 7.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	21,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000円		
(3)利用者の概要 (平成19年6月21日現在)			
利用者人数	9名	男性 1名	女性 8名
要介護1	2名	要介護2	1名
要介護3	2名	要介護4	2名
要介護5	2名	要支援2	0名
年齢	平均 84歳	最低 75歳	最高 89歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 あり・(なし)	医療連携体制加算		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			その人らしく暮らせるように、個人個人のペースで生活できるよう心がけている。強制でなく、出着るだけ本人の意思決定を大切にしている。		
			(外部評価)		
			法人代表者は、地域は家庭の延長というお考えのもと、認知症であっても自分らしく生きていくことを支えていけるよう理念を作られている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			その人らしく生きることをお互い念頭においており、日々意見も交わし、今後に生かすようにしている。		
			(外部評価)		
			管理者、職員は意見交換を行い、理念を日々実践できるよう取り組まれている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			ご家族にも出来事など知ってもらったり、今後地域と生きていくためにどうありたいかを試行錯誤しながら、理解・協力してもらえるようお話ししている。		
					もともと地域の方でない方も多いが、本人にとって居心地の良い住処となるようにしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 挨拶は、もちろん、立ち止ってお話したり、わからないことをお聞きしたりしている。お野菜を持ってきてくださったり、ホームにこられお話しして帰られたりすることもある。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の一住人として、回覧板も回ってきており、地域清掃も参加している。また、どろんこ祭りなどにも参加した。 (外部評価) 隣近所とお付き合いをされている。公民館活動についての案内はいただいている。		利用者の身体状況によるが、参加出来る地域行事には、どんどん参加していきたい。 地区の区長の方より、地域の方に認知症ケアについてお話する機会があれば、講師として管理者に協力いただきたい、というお話があり、受けられている。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 現段階では、利用者中心に動いており、地域の高齢者の方々の関わりまで進展していない。近所の高齢者がお話に来てくれることはある程度。		推進委員会等回を重ね、地域に浸透していけるように考えていきたい。具体的にどうすればいいのかまだよくわかっていない。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価を受けることや、自己評価をすることにより、改めて客観的に見つめなおし、時間はかかっても、一つずつからでも改善できるよう努力している。定期的なミーティングの場・地域との関わりなど。 (外部評価) 事業所では、項目を分けて全職員で自己評価に取り組まれており、管理者がまとめられた。自己評価で気付かれた職員個々の考え方の違いについて話し合われた。前回の評価結果を受けて、定期的なミーティングの開催や、職員と利用者が一緒にできること（花を活ける、野菜を育てる等）を増やされていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			ホームでの出来事を報告させていただき、意見を交換しながら、行っている。また、どうあるべきか意見を求め、理解もしてもらうように努め、反対に意見も参考にさせていただいている。		推進委員会がまだ3回目終了したところなので今後もっと意見交換の場として生かしていけたらと思っている。
			(外部評価)		
			運営推進会議時には、出席者にグループホームや認知症の説明をされている。区長さんより何かお手伝いできることがあれば言って下さい、と声をかけていただいた。		管理者は、地域の方に利用者が行方不明になったような時に協力を得られるよう、働きかけて行きたいと考えておられた。又、事業所のことを知ってもらう取り組みもすすめていきたいと考えておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			運営等で疑問点、改善点があれば相談している。		
			(外部評価)		
			管理者は、介護保険制度等についてご家族から聞かれた時等に、市の担当者に相談されている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			現在1名の方が成年後見制度を利用しており、利用に当たっての流れや、後見人の方との関わりも経験している。必要である方には情報提供していきたいと考えている。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			常にスタッフの言動、入居者の身体状況を把握している。また入居者への対応の仕方に疑問があるときは、話せる雰囲気作りもしているし、相談・解決も出来ている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		(自己評価) 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に重要事項説明書に伴い、説明している。家族もわからないことは、その都度質問されるため説明・お答えしている。		
13		(自己評価) 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者の不満等あれば、十分に聞き、対応も合わせて個人記録に記録している。対応についてスタッフに対しては、日誌およびミーティングにて徹底している。		
14	7	(自己評価) 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族来所時に出来事・健康状態等お知らせしている。ご家族も最低でも1ヶ月に1回は来られるためそのときに報告している。また、必要に応じて連絡行っている。例えば衣類の入れ替え等もこちらで見極め連絡するなど。		
15	8	(自己評価) 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	責任者を明らかにし、気軽に話しかけていただく様にしている。また、どの職員に言っても連絡できるようにしており、意見・不満・苦情等あれば、解決するようにしている。		
		(外部評価) ご家族来訪時等で、ご家族の意見や希望を聞いておられる。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 管理者・ホーム長に気軽に話せるようにしており、ミーティング等でも意見・提案を聞き、一緒に考え改善できることは改善。出来ないことは最善に出来るようにしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 話し合い等行い、努力している。また相談したりして対応している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 同経営施設間での異動はなく、いつも利用者に馴染みのある方が勤務している。その人でなければならぬケアは行っていない。おられる利用者に対して誰でも対応できるようなケアを普段から心がけている。		
			(外部評価) 現在、離職者はほとんどなく、利用者と職員は、馴染みの関係となっている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 実務に追われているのが実情であるが、出来る範囲での研修の情報の確保・調整は行っている。		もっと学ぶ機会を増やしていきたい。
			(外部評価) 運営者は、職員に研修案内をされている。資格を取る職員に運営者、管理者はできるだけ協力をされている。		管理者は、さらに勤務の日程調整をしながら、非常勤職員の研修参加を促していきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			同業者が訪ねて来てくれたり、情報交換したりしているが、サービスの質を向上させていく取り組みまで至らないかも知れないが、良いと思うことは取り入れるようにしている。		
			(外部評価)		
			同業者が訪ねて来てくれたり、情報交換をされている。		今後、事業所の近くのデイサービスとの交流を考えておられる。地域包括支援センターの会合等の参加も予定されている。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			職員が管理者・ホーム長に話せる雰囲気作り・管理者・ホーム長が運営者に話せる雰囲気作りはしている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			職員が管理者・ホーム長に話せる雰囲気作り・管理者・ホーム長が運営者に話せる雰囲気作りはしている。改善するよう努力はしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			本人と話す時間を持ち、出来るだけ多くの事を聞き、何が不安で、何を必要かを理解するようにしている。本人が話したいときに待つてではなく、まず耳を傾ける努力を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) これまでの家族の苦労話や、サービスに対しての不安や、意見にその都度対応している。実際ご家族が気軽に話せる関係作りにも努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) お話を聞いた上で本人や、ご家族の思い等を確認し、支援の提案をしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 事前に本人・ご家族に見学していただき、相談しながら行っている。また個人個人のペースを大切に、本人のペースを乱さないようにしている。 (外部評価) 民家改修型の事業所であり、建物の雰囲気が利用者の以前住まわれていたお家に似ているということから、入居間もなく落ち着かれることが多い。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 本人の不安や、楽しみ等を知ること努め、共に支えあえるよう努めている。昔より培ってきた生活に対しての知恵など伝授してもらったり、反対に女性なら、一緒に服選びをしたりなど。 (外部評価) 時に起こる利用者同士のトラブルの時には、職員が双方の話をよく聞き、利用者の思いを受け止め対応してもらえる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族の面会の際には、喜んだこと、怒った事、など日ごろの状態を報告し、共に介護について話し合っている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 両方からの話を聞くことでお互いが必要としていること、していないことを、日ごろから考えている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 遠方への外出が少なく、故郷へ行く機会を作っていない。本人が会いたいと思う人になかなか会えていない。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 昔遊んだ事(お手玉やあやとりなど)を話題にしたりすることで全体の会話へとつなげ、お互いに懐かしんだりして交流を持つことが出来るように努めている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 例えば入院後思わしくなく、退去となった方にも気軽に相談してもらえるような関係作りに努めている。相談には、誠意を持ってお答え対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			利用者のペースに合わせ、一人ひとりが自分で決めたり、選んでもらう場面を作っている。選ぶのを待つ等の配慮を行っている。また個人個人の意見も大切にしている。困難な場合もその人に何が大切であるか、検討した上で行うようにしている。		
			(外部評価)		
			日々の暮らしの中のご本人の様子や会話等から、利用者個々の思いや意向の把握に努めておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			家で使っていた仏壇を置き、毎朝水の入替えをしたり、花を生ける、お経を詠むなど・・・馴染みの物を置き、家庭の雰囲気作りに努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			毎朝バイタルチェックを行い、一人ひとりの健康状態を把握し、声かけや、会話、普段の様子を観察することにより、身体・心の状態を知るよう努めている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			家族・医療関係者・職員と相談し、意見等も検討し、毎日スタッフ同士で話し合いも行い、利用者が一番良い、一番利用者が必要としていることを介護計画として作成している。		
			(外部評価)		
			作成後の介護計画の内容は、ご本人に説明されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			3ヶ月毎の介護計画の見直しを行っている。また身体状況に変化が起きた時も介護計画の見直し、変更を行っている。また介護計画変更時には、ご家族の意見も聞き、介護計画も納得の上での実行出来ている。		
			(外部評価)		
			介護計画は3ヶ月ごとに見直しをされている。又、毎月計画について評価、モニタリングを行っている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			1ヶ月ごとに介護計画の評価を行っている。経過記録を具体的に個人個人で記入してもらい、1ヶ月の経過を記録より評価している。介護計画にも生かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			事業所の多機能性を活かしての柔軟な対応というのが具体的にわからない。		具体的にどういうことか知りたい。その上で検討・実施したい。
			(外部評価)		
			職員は、利用者の通院時や美容室の利用等に同行されている。事業所では、ご家族の希望があれば宿泊もできるようになっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 現在本人の意向と地域資源と繋がるものがない。		推進委員会を糸口に地域資源との協働出来るようにして行きたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人・家族の意向としてマッサージを受けている。事前に話し合い行った。現在は、本人も大変満足されている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括センターとの関わりについては、推進委員会の連絡のみであるが、日程の都合が合わず、未だ話し合いはなされていない。		今後こちらからも積極的に関わって行きたい。包括の方にも研修・講義などの行事への参加ができるのであれば参加したいとの意思是告げてある。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) かかりつけ医に関しては、本人・家族の意向を聞き、以前からかかっている所を希望される方に関しては、従来とおり同じ所を受診してもらっている。また、全員緊急時にも医者に相談できるように連携をとっている。 (外部評価) 利用者個々にご本人の希望するかかりつけ医を受診されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) かかりつけ医が、症状によって専門医（心療内科等）と相談の上検討・指示を出していただいている。利用者のことについて異変があった場合相談・対処出来る。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員は2名おり、他職員が病状。その他疑問・異変を感じたときは、気軽に相談できる関係である。看護職員は、不明のときは、医師と相談・受診し、解決に努めている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 利用者が入院して際は、家族との連絡、病院に状態を定期的に通きに行くなどして退院時期も早期に相談し、対処出来るようにしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 病状悪化等考えられる方に関しては、医者・家族と相談した上で今後の方針・意向を確認し、職員全体にも伝えている。 (外部評価) ご本人の状態変化時等、機会を捉えて看取りについて、ご家族と話し合われている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) その人に対し、少しでもその方がその人らしく生きていける様に出来ることを行っている。もちろん限界もあるので出来ないことは、家族に了解を得ている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 現在異動等なかったので行っていないが、もし、あれば、情報は、全て伝達し、対応等も伝え利用者が混乱をきたさない様に最大限の支援は行うつもりである。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>人生の先輩として、尊敬し、会話している。自室やカーテンを利用しプライバシーを保護している。</p>		
<p>(外部評価)</p>					
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>何かをする前は、必ず説明し、納得してもらってから行っている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>散歩・ドライブ・日向ぼっこ・自室のはたきかけ・床拭き・食事の下ごしらえ・食器拭き・洗濯物干し・たたみ・TV・CD・等一人ひとりにあった声かけを行っている。</p>		
<p>(外部評価)</p>					
<p>利用者一人ひとりのペースを大切に支援されている。</p>					

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人が美容室を希望される場合は近所の美容室に協力を得ている。本人がスタッフを希望する場合には対応できるようにしている。気にかけていない方への支援も行っている。整髪・髭剃りの声かけなど。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一緒に野菜の皮むきをして献立を話したり、何が食べたいか希望を聞いたり、ある材料の調理法をお聞きしたり、盛り付けを依頼したり、ランチョンマットの取替えをしたり、スタッフが話題を提供したりして楽しく食事が出来るようにしている。不用意な言葉かけをしないようにしている。 (外部評価) 食事の準備を利用者と職員と一緒にされていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 嗜好品にお酒・タバコをする方がいない。毎日10時15時入浴後・希望時本人の好む飲み物を提供している。(ヤクルト・ジュース・コーヒー・ココア・牛乳等)おやつも季節に合わせたものや、好みのものを出し、楽しみにされている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 尿意のない方、感じにくい方については、2～3時間毎にトイレ誘導を行っている。日中は、食前・外出前のトイレに心がけている。チェック表を作成し、確認しながら、行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			出来るだけ個人の意見を尊重している。が、入浴拒否が長期間続く場合等スタッフが積極的に働きかける場合もある。		
			(外部評価)		
			ご本人の希望があれば、毎日入浴することもできる。事業所では、ゆず湯や入浴剤などを使用されることもあり、お風呂好きな方はゆっくりと時間をかけて入浴されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			散歩や、入浴など行ったり、犬と触れ合ったり、リビングで過ごす時間を多くし、昼夜逆転しないように努めている。状況に応じて昼間も休息したりもしている。どうしても眠れないという方に対しては、医者や相談の上眠剤で安眠を得ている方もいる。天気のよい日に布団干しなどしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			スタッフと一緒に買い物に行き荷物もちしてみたり、掃除をしたりしている。季節の花々を楽しみ生けてみたり、大好きな犬と触れ合うなど個人個人に合った役割・余暇時間を過ごしている。		
			(外部評価)		
			居室でラジカセを聞かれたり、お風呂がお好きな方は、近くの温泉に出かけ楽しまれている。代表者のお宅で飼われている犬とのふれあいを楽しみにされている方もおられる。		さらに、今後、買い物時等に、利用者個々に選んでもらうような機会を増やしていきたいと考えておられた。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			能力がある方に関しては、本人希望時に一緒に買い物に行き、雑貨・衣類など購入されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			声かけし、希望時には散歩に出かけている。また買い物に行く際も声かけし、なるべく外出するよう取り組んでいる。だが、本人の希望する場所での外出とは、言えない。		本人の希望することを聞き、スタッフの数や体制が揃っている場合はなるべく希望に添うよう取り組みたい。重度の方が増え、外出させて差し上げたいのに出来ないのも実情。
			(外部評価)		
			日々の散歩や買い物の他、月1回程度、ドライブや外食等に出かけておられる。		管理者は、利用者個々の行きたい所への支援や、利用者のふるさと訪問等にも取り組んでいきたいと考えておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			年に何度かは、お食事に行ったり、ドライブに行ったりしているが、家族の方と共に出かける機会はまだまだあまりない。		家族の方とも話協力してもらい、外出する機会を今後作っていけるよう取り組みたい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望時には、電話をかけたり、手紙を投函したり出来ている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			時間の制限等も作らず、いつでも気軽に訪問できるようにしている。居室か、他の利用者の居るリビングで会話しているため必ずしも居心地がよいとはわかりかねる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 全ての職員が禁止の対象になる具体的な行為を正しく理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 自室の鍵に関しては、利用者の方にまかせている。その他の鍵に関しては、夜間以外は鍵をかけていない。また、鍵をかけることの弊害を職員が理解している。 (外部評価) 日中、玄関は開放されている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の所在や、様子を把握し、安全に配慮しているが、必ずとは言えない。		スタッフ間で声かけ等をもっとするようにしてスタッフ全員で様子を把握出来る様取り組みたい。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 危険なものを全て取り除くことはせず、一人ひとりの状態に応じて置いておくか、取り除くか、判断している。只、利用者の身体状況が変わっていくのでそれに応じて判断していかないといけない。		利用者の状態の変化等正しく判断し、それに応じて対応していきたい。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故防止のために知識を勉強したり、それに対応するマニュアルもいつも見ることが出来るようにしているが、定期的な勉強は、出来ていない。		事故等が起きたときのために定期的にそれに対しての対応が出来るように勉強をしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 初回の指導等で定期的には行えていない。		実際忘れてしまった。対応できるか心配の声もある。 今後定期的に実施し、全員が自信をもって行えるようにしていきたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 地域との関わりがまだ、密ではない。利用者に避難できる方法を身につけさせるのは、認知症の度合いにより困難かと思われる。 (外部評価) 食器棚が、地震等で倒れないように工夫されていた。災害時の避難訓練は、今後の取組みとなっていた。		次回の推進委員会の議題として話し合う予定。 7月の運営推進会議時には、消防署員立会いのもと、避難誘導の確認や水消火器の使い方を学ぶ予定となっている。災害時、地域の人々と協力し合えるよう、働きかけていきたいと考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 常に家族との話し合いをもっている。個人個人の背負うリスクについて話している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 常に観察し、スタッフ間での情報の共有をし、小さなことでも報告してもらっている。異変があれば、早急に対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 投薬情報をファイルに整理し、内容を把握できるようにしている。また薬に変更があった場合は日誌の申し送りに記録・全員が確認するようにしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 散歩や日向ぼっこなどし、体を動かす機会を増やしている。また、ヨーグルトや、牛乳を加えた飲み物や、個人的にヤクルトや、野菜ジュースなどでその人にあった解消法を常に検討・実践している。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の歯磨きの声かけを行っている。また、必要な方には、洗面所まで誘導し、見守り・指導を行っている。全介助である方には、ガーゼ等活用し、口腔ケアを行っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食べにくいものがあれば、刻んだり、身を解したり、食事の形態をその方にあった調理法で行っている。水分も少ない方はチェック表を作り、水分補給に努めている。おやつをゼリー・プリンにしたり、了承の元主食をおかゆにしたりしている。 (外部評価) 野菜を中心に季節の食材を採り入れ、献立を立てておられる。利用者の状態によっては、医師の指示のもと水分量を管理することもある。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 予防接種などは、励行しており、家族の同意のもと受けている。また食事前・排泄の後・外出後声かけ・誘導して行っており、併せてスタッフも行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食器拭き用のふきんなど毎日漂白・除菌している。生野菜などは必ず熱を通すようにしている。食材の賞味期限を守っている。</p>		<p>まな板の除菌を徹底したい。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>建物の外壁に目立つペインティング、周辺には、季節の花々や野菜を植え、家族・近所の方との話題に役かっている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関には常に生花を飾り季節感を感じれるようにしている。廊下には夜間対策として小さな電灯をつけている。花が絶えないようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関には生花が活けられ、メダカが飼われていた。庭先にはトマト等野菜も植えられていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>リビングに二人がけのソファを設置。また畳2畳ほどの横になり休むことの出来るスペースを設けている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			音楽が好きな方には、CDラジカセなど使い、音楽を楽しみ、花好きな方は、自室に鉢植えの花を飾ったりされている。		
			(外部評価)		
			居室にはご本人の馴染みの家具等が置かれていた。入口には涼しげな暖簾もかけられていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			希望する方には、部屋用の消臭剤を使用してもらっている。毎朝掃除時など換気を徹底するようにしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			敷居など少なからず段差がある所は、つまづかないように補助をしたり、車椅子で出入りしやすいように自室前を広げたりスロープをつけたりしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			個人的なスケジュールを、本人の自室カレンダーなどに記入し、把握してもらうようにしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			縁側などで日向ぼっこや、お茶を飲んだり出来るようにベンチ・パラソルなど活用している。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者が何を望んでいて何をしたいか把握している。個人の性格も理解しているつもりである。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食事と一緒に話しながらできたり、一緒に座りおやつをたべたり、お茶を飲んだりしている。一緒にソファに腰掛けいろいろな話を展開できている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	食事・入浴・外出など本人のペースで行えている。強制や、急がすことのないようにしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個人にあった役割分担を行い、それによってとても生き生きされているように思う。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	身体的に可能な方は、自由に出かけられる。散歩・買い物など。身体的に重度の方が多いのも事実であり、限られてしまうこともある。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	不安に思うことがあれば、相談してもらえており、解決策も見出されている。行きつけのかかりつけ医。往診等も安心されている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	状況や、希望に関して出来るだけの支援はできている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	気軽に話せる、気軽に訪問できる関係は出来ている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 4 ほとんどない	近所の方が話しに来られたり、野菜を届けてくださったり、している。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 ③あまり増えていない 4 全くいない	まだ日が浅い為、まだまだである。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ①ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	コミュニケーションの取りやすい職場だと思う。誰もが気軽に意見を言い合えている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	スタッフとお話している雰囲気から満足されているのではないかと思います。信頼関係も出来ているように伺える。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ①ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	訪問時に話している中では、よくしてもらっていると褒めの言葉をかけてくださる。が、まだまだサービスの質の向上に努めていく必要があると思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

職員同士の人間関係、職員と利用者との人間関係。お互いが親しみを持って過ごせている。
グループホームは家庭的に暖かい雰囲気であることが大切だと思う。お互いが肉親の関係とまではいかないが、信頼関係は築いている、時には、父・母のように職員の利用者を思いやり、いかにその方にたいしてがベストが常に考えて行動できているところ。
いつも和やかな雰囲気を作り、花も絶やさないようにしている。